

# 北信濃里山通信 vol.6

2012年5月1日発行

## 巻頭言 「ネタのおすそ分け」のススメ

北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行

人と動植物がにぎわう元気な里山の再生に向け、私たち一人一人が「すぐにできること」について考えてみました。

### 『非会員を一人つかまえて、その人に里山のことを熱く語る』。

まずここからです。例えば、昨年オオルリシジミの観察会で見事オオルリシジミに出会えたあなたは今年も観察会に参加し、そこで「にわか講師」を務めます。

里山のネタについてこれまでに学んだり知ったりしたことを、一つでいいので堂々と熱く語るのです。

あなたご自身が腑に落ちた、とっておきの内容ならば「受け売り」でも全然構いません。押し売るのではなくネタを「おすそ分け」する感覚です。

『北信濃の里山を保全活用する会』始動2年目は、まず、皆さんの持ちネタを披露、というよりも吹聴することから始めましょう。

それでは、さっそく近くにいる人をつかまえ外に連れ出し、即実践です。



左の写真：雪の合間から顔を出したフクジュソウ。4月中旬、飯山市豊田五束にて・・・

※飯山市豊田五束地区では、恒例の「カタクリの道・観察会」を行います。今年で15回目！

日時は、5月3日（木）午前11:00～12:30、集合場所は五束神社前です。

当会も後援にあたり、井田会長と県自然保護インストラクターの高橋勸さんが講師を務めます。

午後は、五束神社の春祭り（五束太々神楽）が予定されています。「いいやまの春」を見たい方は、是非、御参加ください。

お知らせが直近・間際になってしまい、すみません・・・（事務局）。

北信濃の絶滅の恐れのある生きものたち その2

オゼイトトンボ

分類：トンボ目 イトトンボ科

学名：*Coenagrion terue*

レッドリスト：長野県・絶滅危惧Ⅱ類、環境省・未該当

【特徴（長野県版レッドデータブックより転記）】

雌雄と成虫の体長は約32mmで、背部は黒色のほか、雄は鮮やかな青色、雌も胸部は青色であるが、腹部側面などは淡い青黄色。翅は約22mmで、腹部の第6節までの長さである。日本固有種。

【生息環境（長野県版レッドデータブックより転記）】

幼虫は、山地の挺水植物のある小川で、湿原や清水地につながる川底に生息する。

【絶滅危惧の要因等（長野県版レッドデータブックより転記）】

生息地の環境変化等。

【特記事項（長野県版レッドデータブックより転記）】

北海道から本州中部以北の限られた場所にのみ分布する。



オゼイトトンボ・♂



オゼイトトンボ・雌雄連結

（解説）

写真は、7月に飯山市温井の湿地で見られ、植物に止まりながら緩やかに飛翔していました。

本種に近似のエゾイトトンボは市内山間部の池沼に生息し、体色はより青みが強く、腹部背面の黒斑の形状で区別します。

観察場所は水田脇にできた何げない湿地ですが、最近はそのような環境も少なくなり、珍しい生きものたちに出会うこともあります。

当地では、湿地特有で最小級のトンボ・ハッチョウトンボも記録されていますが、その後は確認されておらず再調査が望まれるところです。

その他、水中では、クロゲンゴロウ、オオコオイムシ、ガムシなどの水生昆虫類やイモリが見られました



本種が見られた湿地環境



ハッチョウトンボ

雪解け水が豊富な飯山では、山間部に池沼や湿地が点在しています。

そこには多様な生きものたち（水生昆虫や魚類、両生類など）が生息し、鳥類はじめ捕食動物の貴重な餌場ともなっています。

飯山の湿地（水田も含め）は、ブナの森と並んで生きものたちのにぎわいの拠点であり、その価値を見直したいものです。

## 活動報告など

事務局

### ・総会の開催と里山活性化プロジェクト講演会への参加

4月14日（土）、飯山市公民館において、平成23年度の当会の総会が開催され、会員23名が参加し、事業報告平成23年度事業報告・収支決算、平成24年度事業計画・収支予算などの議案が承認されました。

24年度事業は、観察会の充実を図り、情報発信のため当会のホームページの開設作業を進めます。幸い、損保ジャパンと環境NPOで企画する「SAVE JAPANプロジェクト」の活動助成を受けられそうです。役員については、前年から引き継ぐ体制で、不在の副会長職は適任者の選任を検討、会計は、市の異動人事により井端伸介さんから手塚貴さんに変更になりました。

また、総会に出席いただいた「茅野ミヤマシロチョウの会」の福田会長から、茅野市八ヶ岳山麓のミヤマシロチョウ保護を通じた環境保全活動の現状を語っていただきました。

学習会、保護監視、保全整備活動のほか、後継者育成・一般への啓蒙として「こども自然探検隊」による自然体験活動（年間18～20回！）に力を入れられており、非常に参考になりました。

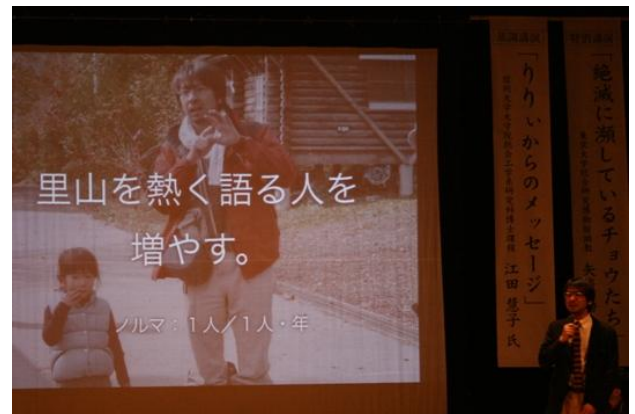
当日の午後は、長野市松代文化ホールで行われた里山活性化プロジェクト講演会・「オオルリシジミの舞う信州を未来へ」に参加しました。

第1部は、矢後勝也さんの特別講演と江田慧子さんの基調講演で、絶滅に瀕している蝶類の現状と保護の必要性、オオルリシジミの保護のあり方などについてお話しされました。続いて、オオルリシジミ絵本「ちょうちょのりりい」の読み聞かせが行われ、一般の方々を意識した構成でした。

第2部は、県内3地区のオオルリシジミ保護団体を交えてのパネルディスカッションで、当会の井田会長も登壇し、当会の方針や生息地草原の力や場利用としての取り組みなどを話し、注目されました。

今後は「オオルリシジミ研究会」を組織して、当会を含め各保護団体が連携していくことなどを確認し、同様の講演会・シンポジウムを継続して開催したいとのことでまとめられました。

当日は130名ほどの来場者があり、展示に見入る人たちや書籍購入で人が集まり、多くの方々に関心をいただきました。



「北信濃の里山のにぎわいを復活させるために…」 当会活動目的を語る井田会長

## お知らせなど

事務局

### ・「雪国の里山の春」観察会と「オオルリシジミ生息地保護区設営作業」

長野県環境保全研究所では飯山市外様公民館と共催で、黒岩山山麓での「雪国の里山の春」観察会を計画しています。ギフチョウが棲む里山環境を一般の方々にも知っていただくための講座ですので、希望される方は是非、御参加ください。また、当日の午後は、オオルリシジミ生息地の保護区設営作業（看板・ロープ設置等）を予定しています。

実施月日：平成24年（2012年）5月26日（土）

日程と集合場所：「雪国の里山の春」観察会・9:30～12:00、飯山市外様地区活性化センター（外様公民館：県道409号を戸狩方面に向かい、外様警察官駐在所の手前左折すぐ）

「オオルリシジミ生息地保護区設営作業」・13:00～16:00、飯山市公民館  
持物など：観察用具、飲み物・昼食、作業などに適した服装

参加費：無料

申し込み等：「雪国の里山の春」観察会には、環境保全研究所（TEL：026-239-1031）の須賀さんまで、当会員であることを告げ、申し込んでください。「オオルリシジミ生息地保護区設営作業」は飯山市公民館事務局まで参加の旨、御連絡いただけましたら幸いです。

## ・「オオルリシジミ発生状況調査・当会員向け観察会」

日 時 : 平成24年(2012年)6月3日及び6月10日(日) 9:00~12:00

集合場所: 飯山市公民館

持物など: 観察用具、飲み物、山歩きに適した服装

※今年は残雪が多かったため、例年よりもオオルリシジミの発生はやや遅れる見込みで、6月3日では、まだ発生していないかもしれません・・・。

参加を希望される方は、飯山市公民館内の事務局まで連絡ください。

なお、6月17日(日)、24日(日)は一般向けの観察会を計画しています。冒頭の井田会長の言葉のように事前の観察会に参加し、一般の方々への語りかけと「観察会・にわか講師」を務めていただければ幸いです。

## お悔やみ

会長 井田秀行

本会顧問としてご尽力いただいた上原脩さんがこの4月に急逝されました。上原さんは北信濃の里山の植物と食文化を熟知され、その知恵や知識を次世代に伝えようと、それこそ、里山を熱く語って来られた第一人者です。誠に残念でなりません、おそらく一番悔しい思いをされているのは上原さんご自身ではないでしょうか。

熱いご意志を引き継ぐべく、里山のにぎわいの再生に向け、私たちも地道に取り組んで行く所存です。ご指導いただき、ほんとうにありがとうございました。ここにご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

事務局

今年は残雪が多かったものの、4月下旬以降は、すっかり春めいた陽気となり、飯山の春の名物、菜の花も開花が進み、アスパラガスも畑から顔を出すようになりました。

4月30日、オオルリシジミの生息地に出かけてきました(写真右)。所々に残雪があり、食草・クララの芽吹きは、しばらく先になりそうですが、満開の山桜と木々の新緑、フキノトウが見られ、「北信濃の春」を実感することができました。



先日の総会でも触れましたが、今年は観察会の充実と情報発信に力を入れたいと思います。

観察会で、参加者がいろいろな視点で里山を語り合えば、案内役だけでは果たせない中身の濃いものになると思います。

会員のみなさんも一般の人を観察会に誘い、何か一つ、これまで得られた情報から自分なりに里山自慢を語っていただき、その連鎖が広がっていくことを期待しています。

発行者: 北信濃の里山を保全活用する会	会長 井田秀行
事務局: 〒389-2253	飯山市大字飯山1436-1
	飯山市公民館内
TEL: 0269-62-3342	FAX: 0269-62-5940
E-mail: kouminkan@city.iiyama.nagano.jp	
編集者・事務局長: 福本匡志	